

月報みえぎよれん

★浜に身近な話題をお届けする関係者向けミニ情報誌★

編集・発行

JF 三重漁連指導部

TEL:059-228-1205

FAX:059-225-4511

本紙は三重漁連ホームページ (<http://www.miegyoren.or.jp/>) での閲覧を推奨します (PDF ファイル)。

令和6年度

三重県青年・女性漁業者交流大会

—1月11日(土)–松阪庁舎—



1月11日(土)、三重県松阪庁舎にて、令和6年度三重県青年・女性漁業者交流大会が開催された。

この大会は、県内の青年及び女性の漁業者が活動内容の発表や情報交換を行うことにより、生産技術の向上・経営改善等につなげることを目的として、毎年開催されている。

冒頭、主催者代表として三重県農林水産部の伊藤次長、続いて水産関係団体代表として三重漁連の濱口会長の挨拶があり、その後、全4題の実績発表が行われた。

審査の結果、三重県知事賞には、株式会社早田大敷(発表者:中井 恭佑氏)の「若手自ら考え担う、定置漁業の未来 ver.2—就業から定着への工夫—」が受賞した。

知事賞を受賞した上記取り組みと、漁連会長賞を受賞した、鳥羽磯部漁協・石鏡

支所(大野 愛子氏)の「フランスに向けた海女文化の発信—海女兼フォトグラファーの挑戦—」は、3月4日(火)~5日(水)にかけて東京・AP 日本橋で開催される、第30回全国青年・女性漁業者交流大会に三重県代表として出場する。

【審査結果】

【三重県知事賞1題】

『若手自ら考え担う、定置漁業の未来 ver.2—就業から定着への工夫—』

株式会社早田大敷 中井 恭佑氏

【漁連会長賞3題】

『フランスに向けた海女文化の発信—海女兼フォトグラファーの挑戦—』

鳥羽磯部漁協 大野 愛子氏

『四日市市漁協のあゆみ~コンビナートと環境変化、模索する漁業経営~』

四日市市漁協 川村 誠氏

『南伊勢町神前浦地区振興産地協議会の取組』

南伊勢町神前浦地区振興産地協議会 掛橋 潤也氏



発表の様子:株式会社早田大敷

全国豊かな海づくり大会キックオフイベント 1月25日(土)-志摩市・阿児アリーナ

1月25日(土)、三重県志摩市・阿児アリーナにて、豊かな海づくり大会キックオフイベントが、志摩市主催で開催された。

本イベントは、11月9日(日)、三重県で行われる、第44回全国豊かな海づくり大会に向けた気運醸成を図るため開催された。

会場では、プレ式典が行われ、大会テーマやコスチュームのデザインの披露、地元漁師によるメッセージ、地元園児によるダンスが行われた。また、三重外湾漁協からマグロ・タイ刺身のふるまい、鳥羽磯部漁協からイセエビ汁のふるまい、三重漁連・購販事業部からのり製品の販売がされたほか、海や漁業に関する展示や体験ブースが行われるなど、様々なイベントが開催され賑わいをみせた。



大会テーマ・コスチュームデザインの披露



マグロ・タイの刺身
ふるまい イセエビ汁ふるまい
ふるまい

第47回全国海水養殖シンポジウム -1月28~29日(水)-愛媛・松山-

1月28日(火)~29日(水)、愛媛県・松山市にて、全国海水養殖シンポジウムが愛媛県県民文化会館で開催された。

近年の高水温による生育不良や赤潮被害に加え、円安による飼料・燃油・資材高騰に養殖業界は激動している。

そこで本シンポジウムでは、養殖業の未来について考えるため、2題の講演が行われた。

講演1として、長崎大学 海洋未来イノベーション機構 環東シナ海環境資源研究センター 教授 征矢野 清氏より、「養殖の未来を考える～総合海洋産業としての養殖業～」、講演2として愛媛県農林水産研究所水産研究センター センター長 渡辺 昭生氏より、「愛媛県水産研究センターの試験研究の現状と種苗生産・育種の事例」について発表された。

また会場では、スマート機器等の展示がおこなわれ、今後の養殖業界の更なる発展に期待できるシンポジウムとなった。



三重県漁師応援CM放送！

三重テレビ放送にて、三重漁連漁師応援CMが以下の日程で放送されます。

- ・19時～(2月23,26,27日)
- ・20時～(2月9,11,15,21,24日)
- ・21時～(2月1,5,7,13,18日)



【主な予定】

○2月10日(月)

機器導入・セーフティネット説明会(津)

○2月13日(木)

青さのり初市(松阪)

本文の無断転載・転用等は固くお断りします。